

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 3 月 24 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '都市計画法に基づく開発許可等の経由および相談に関する事務'.

Table for (1) 事務事業の概要. Includes ① 事務事業の概要 (全体像) and ② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順.

Table for (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移. Includes ① 手段, ② 対象, and ③ 意図 with associated metrics and trends.

Table for (3) 投入量 (事業費) の推移. Includes sub-tables for 事業費 (国庫支出金, 県支出金, etc.) and 人員費 (正規職員従事人数, etc.).

Table for 事業費の内訳. Shows 27年度事業費実績 (千円) and 28年度事業費予算 (千円) with a total of 0.

Table for (4) 当該年度の実施内容. Includes 28年度, 29年度, and 30年度の事業内容. Includes a note about entering content by fiscal year and a list of main activities.

事務事業名	都市計画法に基づく開発許可等の経由および相談	事務事業No.	40401000760	所属課	都市整備課
-------	------------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	<p>県事務処理特例条例の施行に伴い、平成12年4月1日から開始された。県の開発許可基準の多様化等に伴い、近年、事前相談の内容が高度化してきている。なお、平成25年度までは、活動指標はいずれも増加傾向にあったが、平成26年度には極端に減少している。これは、消費税の増税に伴う“駆け込み需要”の影響とみられる。</p>
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	<p>平成21年3月、市議会が「調整区域の撤廃及び都市計画区域見直しを求める請願」を採択しており、区域区分をはじめとする都市計画制度の適切かつ合理的な見直しが求められている。また、申請人・代理人(建築士・行政書士等)等からは、事務の簡素化や迅速化の要望が寄せられている。</p>
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市の都市計画の目的を担保すること及び良質な宅地水準を確保することは、第1次総合計画(後期基本計画)第4章に掲げる基本政策「快適で潤いのある生活環境づくり」の実現を図る上で不可欠であり、政策体系との整合は図られている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 県事務処理特例条例で市の事務事業と規定されている。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 都市計画法及び県事務処理特例条例に基づき、適正に処理している。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 県事務処理特例条例で市の事務事業と規定されており、廃止できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない 県事務処理特例条例で市の事務事業と規定されており、他に手段がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 当該事務事業については相応の知見が求められるほか一定の裁量が伴うため、正規職員以外の職員での対応は難しく、主な経費である人件費の削減余地は小さい。なお、事務処理件数に応じて県事務処理特例条例に基づく交付金が県から交付されている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 開発許可等の申請等に当たっては、県が手数料を徴取し、その一部を県事務処理特例条例に基づき市に交付している。したがって、受益者負担は公平・公正であると考えられる。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	当該事務事業は、都市計画法及び県事務処理特例条例で市の事務事業と規定されているものであり、第1次総合計画(後期基本計画)第4章に掲げる基本政策「快適で潤いのある生活環境づくり」の実現を図る上で不可欠なものである。なお、事務処理件数に応じて県事務処理特例条例に基づく交付金が県から交付されている。																		
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> </table>	成果	向上				維持		○		低下						削減	維持	増加
成果	向上																		
	維持			○															
	低下																		
		削減	維持	増加															
(6) 事務事業優先度評価結果																			
成果優先度評価結果																			
コスト削減優先度評価結果																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>